



感激の…

6年生を送る会

～つながり 感じて～

今日、『6年生を送る会』が行われました。本郷小学校の伝統を受け継ぐ立場の5年生が実行委員となって企画しました。6年生に対して感謝の思いを伝える時間となりました。

昨年は、体育館に集まったのは5・6年生だけで、5年生が「本郷よさこい 6年生へ感謝を伝えるバージョン」を披露しました。1年生から4年生までは、各学年から6年生へのメッセージや手作りの飾り付けを作成する際の動画が「メイキングビデオ」として上映され、各教室で5年生が撮影する動画を電子黒板で見て参加しました。

今年は、全校児童が一堂に会して、体育館に集まることができました。昨日、5年生が飾り付けた体育館で、みんなが待つ中を6年生が入場します。

会が始まると、1年生から順に感謝の気持ちを伝える歌や合奏、ダンスや呼びかけなどのパフォーマンスが行われました。どの学年も工夫を凝らして、精一杯に取り組んでいました。最後には、体育館にいる全員で校歌を歌って、6年生からも、合唱「旅たちの日に」、お礼のメッセージ等があり、感謝の気持ちが伝えられました。呼びかけに返事をしたり、お礼を言ったり、自然と拍手が湧いたり…中には感激して涙ぐむ子供たちもいて、どの学年の取組も楽しく温かい雰囲気が感じられました。

子供たち全員が集まって、お互いの様子を見合うこと、実際に声を聴き、表情を見合うことの大切さと教育的な意義を改めて感じた時間でした。そして、「うちの学校（本郷小）の子供たちの力は本当に素晴らしいものだ。」ととても嬉しく胸の奥が熱くなりました。



『6年生を送る会』は、卒業生と在校生のお互いが感謝の気持ちを伝え合う機会というばかりでなく、それぞれが進級の心構えや新たな生活への希望をもつ機会とするねらいもあります。

また、将来、どこかで出会う方や年代の離れた方が同じ学校の卒業生であったなら、それだけで心がうちとけるような安心感や親近感を感じるはず。本郷小学校という同じ学び舎で過ごした同窓生としての意識は、これから一生持ち続けていくものでしょう。こういった出会いや心持ちはいつまでも大切にしていきたいものです。

